

令和6年度

教育総務部の方針書

部名	教育総務部
部長名	佐藤 耕樹

1. 部の使命(ありたい姿)

ふるさと横手に愛着と誇りを持ち、自らを高め、人との関わりの中で共生協働し、未来を切り拓く人を育みます

担当政策	政策2: 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
担当施策	2-1: 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 2-2: 安全で安心して学べる教育環境の整備 2-3: 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 2-4: 心を豊かにする生涯学習の推進 2-5: よこての伝統文化の継承と再発見

2. 部の抱える課題(現状)

- ◎児童生徒が安心して学べるための学校施設老朽化対策とICT教育環境整備
- ◎次年度事業を見据えた野球場改修や陸上競技場公認取得に向けた改修などスポーツ施設の計画的な整備
- ◎横手市生涯学習館Ao-naの令和6年9月オープンに向けた準備作業
- ◎読書活動推進計画の着実な推進
- ◎金沢柵推定地金沢城跡の総括、史跡指定に向けた準備

3. 今年度の『スローガン』

目標に向かって共に歩む教育委員会
～ ひとりではなく みんなで ～

4. 今年度の方針

- ◎安全安心な学校施設の整備・ICT教育環境の整備推進
- ◎生涯学習館オープンに向けた着実な準備と賑わい創出に向けた事業推進
- ◎各スポーツ施設の整備と生涯スポーツの推進
- ◎読書活動推進計画に基づく読書活動の推進
- ◎地域の歴史的資源を把握し、保存と活用を図るための事業推進

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全で安心な施設整備とICT教育環境の整備推進
	取組内容	・朝倉小学校大規模改修工事など長寿命化改善計画に基づく整備推進と児童生徒が安心して学習ができる環境整備の推進 ・一人一台端末の更新、統合型校務支援システム導入などICT環境整備の推進 ・スポーツ施設(野球場、陸上競技場、天下森スキー場等)の整備と適切な維持管理
(2)	実現したい成果	生涯学習の充実と生涯スポーツの推進
	取組内容	・生涯学習館Ao-na開館に向けた着実な準備と情報発信、駅前の賑わい創出 ・市民が気軽に参加できるスポーツ・健康活動の創出 ・第1次横手市読書活動推進計画をベースとした読書活動の推進 ・地域と学校の連携・協働活動の推進
(3)	実現したい成果	地域の歴史的価値の周知と保存、活用を図るための事業の推進
	取組内容	・歴史的風致維持向上計画及び歴史文化遺産保存活用地域計画の推進と進捗管理 ・発掘調査事業の実施と歴史的価値の周知 ・未指定の文化財の把握と民俗行事等のデジタル映像化の推進

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1)安全で安心な施設整備とICT教育環境の整備推進

- ・学校施設の大規模改修工事について、朝倉小継続工事は計画どおりに進捗。醍醐小は6月発注済。
- ・統合型校務支援システムの前倒し導入の決定、大型提示装置の各小中学校への導入決定。
- ・天下森スキー場ヒュッテ新築工事(継続工事)は12月工期に向け整備中。グリーンスタジアムよこて・十文字陸上競技場の改修工事は6月発注済。

(2)生涯学習の充実と生涯スポーツの推進

- ・9月14日に生涯学習館Ao-naがオープン。オープンから10日間で入館者数2万人を突破し、駅前に新たな賑わいを創出している。
- ・横手図書館のAo-na移転については教育委員会全体のサポートにより順調に移転作業を完了させた。9月中の本を借りた人数、貸出し冊数も前年比2～3倍となっている。
- ・バスケットボール1大学、野球2大学の合宿を誘致し、練習や試合を市民が気軽に見学・観戦できる環境を整え実施した。

(3)地域の歴史的価値の周知と保存、活用を図るための事業の推進

- ・旧片野家住宅とその一体的な活用を図るため、隣接地の土地購入、庭園開放などを行った。
- ・金沢柵推定地金沢城跡の総括報告書作成にかかる遺構遺物の再整理。
- ・8月、9月の計8日間にわたる青山学院大学の考古学実習の支援。
- ・各地域の民俗行事等の16件をデジタル映像化。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1)安全で安心な施設整備とICT教育環境の整備推進

- ・NEXT GIGAに向けた1人1台端末更新の準備、学校ICT環境整備に係る今後の見通しの検討。
- ・統合型校務支援システムを構築し、来年度中に活用できるよう準備を進める。
- ・学校施設・体育施設の工事の進捗管理の継続。

(2)生涯学習の充実と生涯スポーツの推進

- ・Ao-naの魅力を最大限活用し、他部署、農業、工業、商業と連携したイベントの検討を行う。
- ・読書に親しむことができる事業やイベントなどと連携し、読書活動に親しむ機会を増やすとともに、SNSなどを活用し、情報発信を強化する。
- ・学校開放に係る課題の整理と方向性の決定、新横手体育館の設置条例設定と令和8年度開館に向けた準備。

(3)地域の歴史的価値の周知と保存、活用を図るための事業の推進

- ・金沢柵推定地金沢城跡の調査に係る総括報告書の完成と史跡指定に向けた準備を進める。
- ・市民大学講座及び地域遺産探訪(よこてまちあるき)を開催し、さらなる文化資源の周知を図る。
- ・FM計画に基づく複数の資料館施設の整理統合について検討。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)安全で安心な施設整備とICT教育環境の整備推進

- ・学校施設・体育施設の令和6年度中の工事については予定通り完成した。継続工事についても予定通り工事が進むよう監視していく必要がある。各施設FM計画との整合を図りながら、優先度と緊急度を考慮し整備を進める。
- ・統合型校務支援システムについては来年度10月からの活用、GIGAスクール一人一台端末の更新については令和8年度からの新端末活用に向け、準備を怠りなく進める。学校ICT環境の整備は計画的に継続して進めていく必要がある。
- ・市民会館は今後も現施設を維持していく必要があることから、安全性をしっかりと見極めながら施設の維持、設備の更新等を行っていく必要がある。

(2)生涯学習の充実と生涯スポーツの推進

- ・9月にオープンしたAo-naの入館者数は目標を大きく上回っており、駅東口に新たな人の流れが生まれている。Ao-na内に移転した横手図書館でも新規登録者数が大幅に増え、多くの方のご利用いただいている。今後もAo-naと横手図書館が一体となり、地域の魅力再発見へつながるようなソフト事業を展開していく。
- ・市民が気軽に参加できる機会の創出として、ラジオ体操チャレンジデーを11月に開催した。また、中高生の競技力向上のためにトップアスリートによるバドミントン教室を2月に開催した。今後は来年度開催予定の天皇賜杯軟式野球大会の準備、新体育館オープンに向けた準備を進めていく。
- ・今年度で3年目を迎えた地域学校協働活動は各学校で様々な取り組みがなされてきた。今後もより多くの方にコミュニティ・スクールを周知し、地域と学校の協働がより深まるよう取り組みを進めていく。

(3)地域の歴史的価値の周知と保存、活用を図るための事業の推進

- ・歴史的風致維持向上計画及び歴史文化遺産保存活用地域計画掲載事業については関係部局と情報共有を図りながら実施及び進捗管理を行った。歴史文化遺産保存活用地域計画については中間評価を実施し、評価指標のさらなる設定や観光への重点的な取り組みが課題として挙げられた。
- ・後三年合戦関連遺跡については、金沢城跡の発掘調査結果をまとめた総括報告書を作成し、次年度刊行する。また、中世金沢城跡の国による史跡指定を目指していくとともに、令和7年度からは雄物川地域沼柵推定値の調査を行っていく。
- ・民俗行事等のデジタル映像化を22件実施した。今後、教育現場での活用を進めつつ、一般への効果的な公開方法を検討する。